

(Check)

3. 助動詞 (1)

07 The story (may) or may not be true. (その話は本当であるかもしれないし、本当でないかもしれない)
 助動詞は共通して動詞の原形を伴うので、文脈から助動詞を決定するしかない。それぞれの助動詞の意味を確実に覚えておくことが基本。また、may, can, must については次のことも重要。
 mayの過去形は might だが、主に現在・未来の行為に言及する丁寧な表現。過去の意味ではない。
 可能・能力を表す can の未来表現は will be able to. 過去形は could と was(were) able to があるが、前者は「能力があった」ことのみを表し、後者は「実際に達成できた」ことも表すという違いがある。
 must の未来表現は will have to. 過去形は had to. また、次のような対照関係に注意。
 must (～しなければならない) ⇔ don't have to (～しなくてもよい) (= need not + 原形)
 must (～にちがいない) ⇔ cannot (～のはずがない)

08 You should[ought to] be more careful about what you say and do.
 君は自分の言動(自分が言ったりすること)にもっと慎重であるべきだ。
 ought to の否定は ought not to であることにも注意。
 その他にも、that 節中に用いられる should は頻出。提案・要求の動詞 + that 節 / it is 必要・重要な形容詞 + that 節など。(この should ~ は原形(仮定法現在形)の代用)
 ex. He suggested that we (should) start early. (彼は早く出発することを提案した)
 It is necessary that we (should) study English. (英語を勉強することが必要だ)

09 We (used to) live in Nagoya.
 would には過去の状態を表す用法はない。

BASIC

- A
- (a) "(May) I help you?" "I'm just looking, thanks." (「何にしましょうか」「見るだけです。ありがとう」)
 (b) It (may) rain at any moment. (いつなんどき雨になるかもしれない) at any moment 「いつなんどき」
 (a) 客に対する店員の言葉。 (b) 推量の may 07
 - (a) Open the window, (will) you? (窓を開けてくれませんか) 命令文の付加疑問 ⇨ 01
 (b) I expect we (will) be able to get there by 5 o'clock. (5時までにそこに着けるとします)
 expect 「予想する」の後に that 節が来る場合、節中の動詞は未来表現。will be able to do 07
 - (a) You (should) obey the traffic rules. (交通規則を守るべきだ) obey 「(規則)を守る、従う」
 (b) It is natural that you (should) think so. (あなたがそう思うのは当然です)
 (b) It is + 主観的判断を表す形容詞・名詞に続く that 節中に現れる should
 - (a) (Can) I use the telephone? (電話を借りてもいいですか) 移動不可能なものを借りるときは use. × borrow
 (b) Speak as slowly as you (can). (できるだけゆっくり話さない) as ~ as one can 「できるだけ」
 - (a) Linda looks pale. She (must) be sick. (リンダは顔色が悪い。気分が悪いにちがいない) 07
 (b) I'm afraid I (must) be going. (もう、おいとましなければなりません) いとまごいの表現。
 - (a) (Would) you please lend me your bicycle? (あなたの自転車を貸していただけますか) 丁寧な依頼。
 (b) When I was a boy, I (would) often go swimming in this river.
 (少年のころ、よくこの川に泳ぎに行きました) 09 日本語につられて to this river としないこと。

- B
- She will be able to sing well. ← She can sing well.
 (彼女は上手に歌えるようになるだろう) ← (彼女は上手に歌えます) 07
 - You will have to do it yourself. ← You must do it yourself.
 (君はそれを自分でしなければならいでしょう) ← (君はそれを自分でしなければならい) 07
 - The story can't[cannot] be true. ⇨ The story must be true.
 (その話は本当であるはずがない) ⇨ (その話は本当にちがいない) 07
 - We don't have to[need not] change trains here. ⇨ We must change trains here.
 (ここで列車を乗り換える必要はない) ⇨ (ここで列車を乗り換えなければならない) 07
 change trains 「列車を乗り換える」の train は常に複数形。cf. shake hands 「握手する」

FURTHER

- C
- ④ "(Will) you hand me that newspaper, please?"
 (その新聞をとって[私に手渡し] くれませんか) 依頼の will
 - ③ I (had to) work overtime every day last week.
 work overtime 「時間外労働をする」 last week から過去のことであることがわかる。
 (私は先週、毎日残業[時間外労働]をしなければならなかった) ① might には過去の意味はない。07
 - ④ Any CD (will) do, so long as it is worth listening to.
 any ~ 「どんな~でも」(主に肯定文) will do 「用が足りる」 as[so] long as ~ 「~でありさえすれば」
 be worth doing 「~する価値がある」(聞く価値がありさえすれば、どんな CD でもかまいません)
 - ② (Would) you like a cup of tea now?
 Would you like A / to do...? 「A は [...しては] いかがですか」勧誘の would. now 「さあ」
 (さあ、お茶でも一杯いかがですか) cf. Would you like to have a cup of tea now?
 - ③ In any case, you ought (not to do) such a thing.
 in any case 「いずれにせよ、とにかく」(= anyway, at any rate) ought to ~ の否定形 08
 (いずれにせよ、君はそんなことをすべきではない)
 - ② You (can't) be hungry. You've just eaten lunch.
 2文目の内容から考えて推量の can't ~ 「~のはずがない」 07
 (あなたは空腹であるはずがない。たった今、昼ご飯を食べたのだから)
 - ② There (used to be) a castle on the hill.
 used to + 状態動詞 「以前は~だった」 ④ be used to doing 「~するのに慣れている」と区別すること。
 castle 「城」(以前、その丘の上には城があった) 09
 - ③ My father insisted that I (should) go to see the place.
 insist 「強く主張する」提案・要求の動詞 + that 節 08
 (父は、私がそこを見に行くように強く主張した) My father insisted that I go to see the place. も可。08
 - ① My teacher recommended that we (read) at least two books a month.
 recommend 「勧める」要求の動詞 + that S'+ 動詞の原形... 08
 at least 「少なくとも」 a ~ 「~につき」(= per) (先生は月に少なくとも2冊の本を読むことを勧めた) ~
 - ① He was a very stubborn person and (would) not listen to me.
 stubborn 「頑固な」過去の固執・拒絶を表す would 「どうしても~しようとした/しなかった」。
 (彼はとても頑固な人だったので、どうしても私の言うことに耳を傾けようとしなかった)
 - ③ You (don't have to) introduce me to the professor because we have already met.
 because 以下の内容から don't have to. introduce A to B 「A を B に紹介する」(二重目的語を取らない)
 professor 「教授」(もうすでに会ったことがあるので、私をその教授に紹介する必要はありません) 07

- D
- 用意ができていないのなら、あなたを置いて出かけなければならない(だろう)。
 (If you aren't ready, we'll have to go without) you.
 will have to ~ は must ~ の未来表現。07
 - 明日何が起こるかだれにもわかりません。
 (No one can tell what will happen tomorrow).
 can tell 「わかる」 There is no telling what will happen tomorrow.
 It is impossible to tell what will happen tomorrow. も同意表現。
 - 父は最善を尽くすようにと私によく言ったものです。
 (My father would often tell me to do my best).
 過去の習慣を表す would 02 A-6 tell O to do 「O に~するように言う」 do one's best 「最善を尽くす」